

桜美林大学 変更内容一覧【R6年度変更申請からの変更】

資料3-1

No	変更内容	変更の有無 (有：○、無：×)	提出様式	変更内容の詳細
1	大学・学部・学科に関する情報	×	2号	-
2	責任者・教員体制	○	3-1号	<ul style="list-style-type: none"> ・教員体制の変更（3名追加、6名削除） ・教員の変更（18科目）
3	科目名	○	4-2号	<ul style="list-style-type: none"> ・科目名の変更（1科目）
4	履修モデル	○	4-2号	<ul style="list-style-type: none"> ・追加（3科目） ・廃止（3科目） ・科目名の変更（1科目）
5	単位数	×	4-2号	-
6	必修、選択必修、選択科目	○	4-2号	<ul style="list-style-type: none"> ・最終科目の選択必修化
7	新規科目（追加）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4-2号 ・5号又は参考様式2号 	<ul style="list-style-type: none"> ・追加（3科目）
8	既存科目（廃止）	○	4-2号	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止（3科目）
9	科目の概要	×	<ul style="list-style-type: none"> ・4-2号 ・5号又は参考様式2号 	-
10	インターンシップ履修計画	×	6号	-

桜美林大学 教育課程・教員体制に係る変更点まとめ										
赤字: 教員の新規追加・削除 青字: 科目担当教員の変更(他の授業科目を担当済み) 緑字: そのほか変更点										
授業概要に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目			専任教員			非常勤教員	授業概要 (一: 変更なし)	
		授業科目	単位数	必修 選択	教授	准教授	助教	講師		
必修科目	カリキュラムの導入科目	環境学入門	2		藤倉まなみ	木村元			—	
	(安全管理・救急救命に関する科目)	野外安全管理	1					田中徳久	—	
	(カリキュラムの最終科目)	専攻演習Ⅰ	2	2	(代表) 藤川まなみ	(代表) 木村元			—	
		専攻演習Ⅱ	2	2	(代表) 藤川まなみ	(代表) 木村元			—	
		探究サービスラーニング(緑地の保全と自然体験活動)		2	藤倉まなみ				緑地の保全と活用をテーマに、地域との連携、市民向けプログラム等について、緑地での体験しながら考え、最終成果として提案書の作成と発表をおこなう。	
選択科目	自然環境に関する自然科学分野の科目	6単位選択必修	自然探究(環境の科学)		2	片谷教孝				環境問題は自然科学と社会科学にまたがった学際的なテーマであり、かつ身近な問題である。この科目では自然科学・社会科学の両方の視点から環境問題の本質を考える。
			自然探究(マクロ生物学への招待) 自然探究(多様性生物学への招待)		2		遠山弘法			—
			生物学概論		2	大脇淳				—
			化学概論		2	磯崎輔				—
			動物学A		2	大矢佑基				—
			動物学B		2	大矢佑基				—
			植物学A		2		遠山弘法			—
			植物学B		2		遠山弘法			—
			生態学A		2	大脇淳				—
			生態学B		2	大脇淳				—
			人と自然		2	大脇淳				—
			環境生物学		2	大脇淳				—
			エネルギーと環境		2		木村元			—
			地球システム科学		2	坪田幸政				—
			地球規模環境論		2	坪田幸政				—
		文系のための環境科学		2	藤倉まなみ				—	
		自然環境調査法		2				田中徳久	—	
		生活環境調査法		2	藤倉まなみ	木村元			—	
		地球環境調査法		2	坪田幸政				—	
		社会科学分野の科目	6単位選択必修	環境法学		2			深見正仁	—
			環境経済学		2	片山博文				—
			環境マネジメント論		2	藤倉まなみ				—
			環境アセスメント論		2	片谷教孝			上杉哲郎	—
			環境と地域		2	藤川まなみ				—
			環境とまちづくり		2	藤倉まなみ				—
			環境社会学A		2	藤川まなみ				—
			環境社会学B		2	藤川まなみ				—
			環境NPO・NGO		2				滝口直樹	—
			SDGsとグローバルガバナンス		2	滝澤美佐子				—
		人文科学分野の科目	6単位選択必修	環境リスク論		2		木村元		—
	社会環境調査法			2	藤川まなみ				—	
	環境倫理学			2		熊坂元大			—	
	人間環境学			2		木村元			—	
	集団コミュニケーション			2	鈴木有香			古谷知子 岐部慶子	コミュニケーションのうち言語以外の側面である非言語コミュニケーションについて概要を学ぶ。無意識におこなっている非言語コミュニケーションに意識的に目を向け、それを理解するために活用できる概念や理論に加え、実践的なヒントを学ぶ。	
	人文探究(非言語コミュニケーション入門)			2				赤崎美砂	コミュニケーションとは何かを考える。そして、コミュニケーション学で研究される重要な概念や研究分野について学び、対一、対複数、多数対多数など多様な形態のコミュニケーションについて、ディスカッションやグループワークなどを通じて理解を深めることを目的とする。	
	科学技術コミュニケーション論A			2		有賀雅奈			科学技術コミュニケーションの理解の土台となる学術的な理論や分析視点を修得し、社会的・文化的に価値のある科学技術コミュニケーションとは何か、考えられるようになることを目指す。	
	科学技術コミュニケーション論B			2		有賀雅奈			科学技術にかかわる情報を一般市民にとってわかりやすく関心をひきつけられるような表現の方法について演習形式で学ぶ。	
	コミュニケーション学入門		2				片山奈緒美 鈴木雅子	—		
	環境教育論		2				野田恵 小玉敏也	—		
インターンシップ		ECO-TOPインターンシップ事前研修	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元			—	
		ECO-TOPインターンシップA	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元			20日間 10日間以上のインターンシップを自治体、企業、NPOのうち2主体で行うことによって環境保全活動の現場を理解するとともに、その現実的課題を学ぶ。	
		ECO-TOPインターンシップB	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元				
		ECO-TOPインターンシップC	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元				
		ECO-TOPインターンシップD	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元				
		ECO-TOPインターンシップ事後研修	1		片谷教孝 藤川まなみ 藤倉まなみ	木村元				
必修科目	73単位(導入科目、最終科目、安全管理)+2単位(インターンシップ事前研修、インターンシップ事後研修)									
選択科目	78 82単位(最終科目6単位、自然科学分野38単位、社会科学分野24単位、人文科学分野12単位、インターンシップ4単位)									
修了判定基準	<p>必修科目9 5単位を全て単位修得していること。 選択必修科目を22 26単位以上単位修得していること。選択必修科目は、自然科学分野6単位、社会科学分野6単位、人文科学分野6単位、インターンシップ2単位に加えて、これらの中から任意に2単位以上とする。</p> <p>【専攻演習Ⅱを選択した場合】 選択必修科目は、最終科目のうち専攻演習Ⅰ及び専攻演習Ⅱの4単位、自然科学分野6単位、社会科学分野6単位、人文科学分野6単位、インターンシップ2単位に加えて、これらの選択必修科目の中から任意に2単位以上とする。</p> <p>【探究サービスラーニング(緑地の保全と自然体験活動)を選択した場合】 選択必修科目は、最終科目のうち探究サービスラーニング(緑地の保全と自然体験活動)2単位、自然科学分野6単位、社会科学分野6単位、人文科学分野6単位、インターンシップ2単位に加えて、これらの選択必修科目の中から任意に4単位以上とする。</p> <p>合計31単位以上単位修得していること。</p>									